

プランクトン検鏡結果のお知らせ

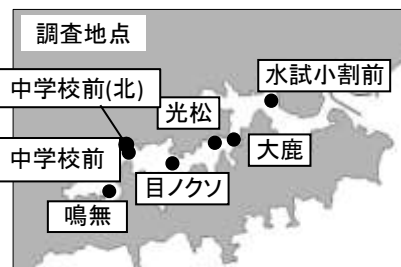
本日、浦ノ内湾のプランクトン調査を行いましたので、結果をお知らせします。

検鏡の結果、魚類に対して有害なカレニア・ミキモイが最高で3,700cells/ml、ケラチウム属が最高で70cells/ml、シャットネラ属が最高で8cells/ml確認されました。

**カレニアは全ての観測点で漁業被害が想定される細胞密度を超えていました。**

カレニアは今後も増殖する危険性があります。慎重な養殖管理をお願いします。

海や養殖魚の状態に不安や変化を感じた時は、良く洗ったペットボトルに海水を汲むなどして、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。



プランクトン (cells/ml)

		カレニア・ミキモイ	ケラチウム属	シャットネラ属	珪藻類
中学校前	0m	0	0	0	36,000
	2m	620	70	3	4,500
	透明度:2.2m 5m	850	1	1	450
目ノクソ	0m	1	0	0	26,000
	2m	1,190	30	3	6,300
	透明度:2.0m 5m	670	50	1	700
光松	0m	0	0	0	16,900
	2m	1,290	40	0	2,100
	透明度:2.0m 5m	820	40	0	250
大鹿	0m	0	0	0	18,100
	2m	1,660	20	0	1,700
	透明度:2.0m 5m	350	60	0	250
水試小割前	0m	1	0	0	14,300
	2m	310	40	0	300
	透明度:2.7m 5m	650	18	0	450
鳴無	0m	0	0	0	
	2m	3,700	29	8	
	透明度:1.7m 5m	164	2	0	
中学校前(北)	2.0m	600	40	5	

**漁業被害が想定される細胞密度**

- ・カレニア・ミキモイ:  
数百～数千cells/ml(魚類等のへい死)
- ・ケラチウム属:  
100cells/ml(餌食いの悪化)
- ・シャットネラ属:  
10～100cells/ml(魚類のへい死)

「環境調査結果のお知らせ」はホームページでもご覧いただけます。 <http://www.pref.kochi.lg.jp/soshiki/040409/akashiojoho.html>